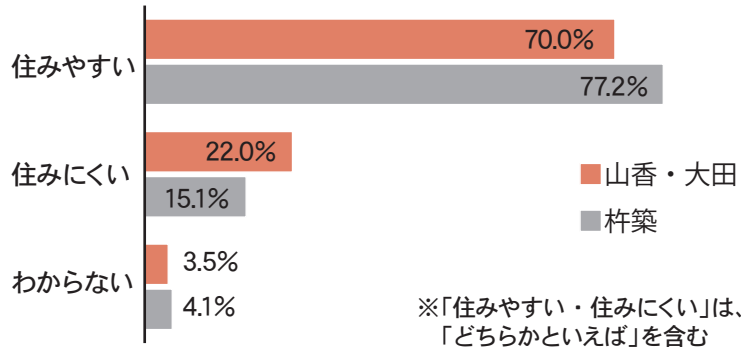


■7割以上が「住みやすい」

杵築市の住みやすさについての設問では、性別や年齢、出身による差はほとんどありませんでしたが、住んでいる地域によって、若干の差が現れました。



■「買い物の便利さ」最重要

普段の暮らしの中で重要だと感じることをお聞きしました。

重要度上位

1	買い物が便利	23.1%
2	医療機関が充実	21.3%
3	まちが安心・安全	17.5%
4	子育てがしやすい	15.1%
5	雇用の場が多い	14.5%

■現在の杵築市は？

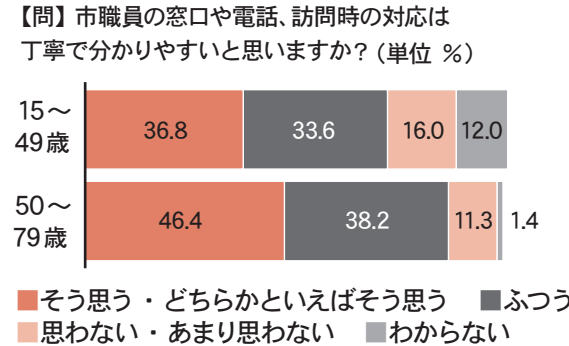
皆さんが重要視していることと市の現状とのギャップを調べるため、重要度と同じ項目で「杵築市がどのようなまちだと思つか」伺いました。

「買い物が便利」など、評価が分かれた項目では、昔と比べれば良いと感じたり、他市と比べて良くないと感じたり、何を基準にするかで評価が変わったものと推測されます。

■年齢によって違う、市職員の評価

市役所の事務のあり方について、市民の皆さんがどのように感じているのかをお聞きしました。

全体では約4割の人が「市職員の対応が丁寧で分かりやすいと思う」と答えただけで、年齢によって評価が分かれました。



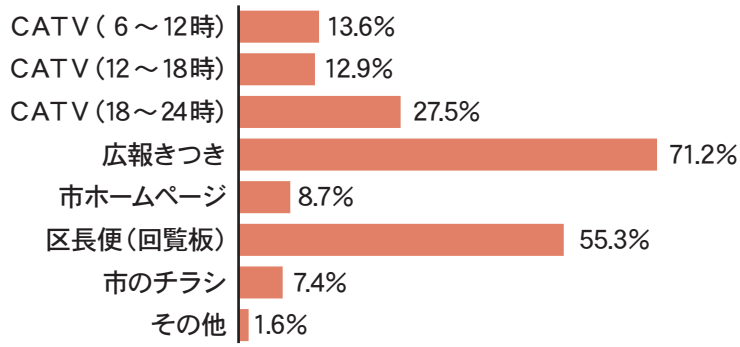
市役所の事務のあり方に関する満足度

※「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の割合

	満足度		満足度
市職員の窓口や電話および訪問時の対応は丁寧でわかりやすいと思うか	42.7%	市民に役立つ情報が伝えられていると思うか	17.6%
市民の意見は市政に活かされていると思うか	10.8%	ホームページは利用しやすいと思うか	9.5%
		市報の内容は充実していると思うか	32.6%

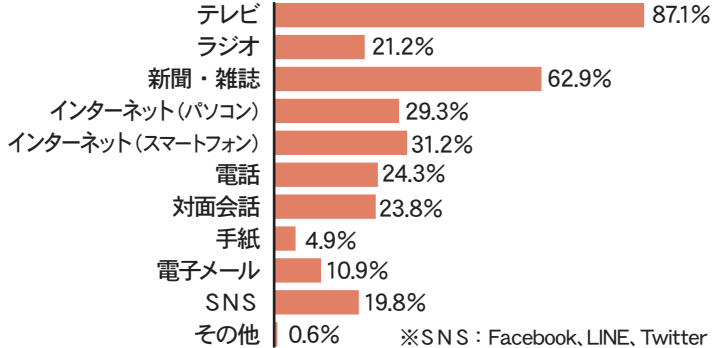
■7割が市報から情報入手

市の広報媒体のうち、多くの人々が定期的に見たり聞いたりしているのは、広報誌、区長便、ケーブルテレビでした。また、ケーブルテレビの最も見られている時間帯は18時～24時でした。



■コミュニケーション手段

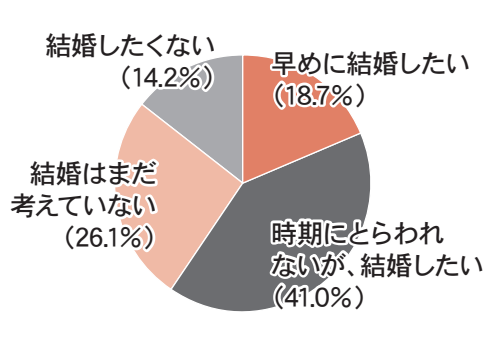
日常生活での情報収集やコミュニケーション手段について伺いました。



■結婚したい？

未婚の方に「結婚」についての考えを伺いました。

性別による数値の目立つた違いはなく、半数以上が将来「結婚したい」と考えていることがわかりました。



■子どもは欲しい？

現在、何人の子どもがいるかを尋ねたところ、平均は「1.7人」でした。また、理想として何人の子どもが欲しい

か（欲しいと思うていたか）という設問では、平均が「2.6人」となり、男女で差は見られませんでした。

今回の調査において、「理想とする子どもの人数」「現在の子どもの人数」を調べたところ、理想との差が1人以上ある人が41.0%あり、その差の平均は「1.72人」でした。子どもを持ちたいと考える人の多くが、さらに2人近くの子どもの望んでいることが伺えます。

■最も大きな不安は「お金」

出産や子育ての不安についての設問では、4人に1人以上の人が「仕事と子育ての両立が難しい」「大学教育に対する教育費にお金がかかる」と答えています。

特に必要な対策を尋ねたところ、「子育てにかかる経済的負担の軽減」をあげる人が最も多く、次いで「仕事と家庭生活の両立支援」「高校・大学教育費用の負担軽減」の順でした。



たくさんのご回答、ありがとうございます。

市政に対する評価をもとに、今後の市の長期計画や業務のあり方を見直します。このアンケート調査は、杵築市に暮らす一人ひとりが、生活や将来にどのような不安や課題を抱えているか共有することの一つの目的としてあります。それぞれの設問やアンケートの結果について、皆さんはどう思いますか？

調査結果のより詳しい内容は、詳細版をご覧ください。詳細版は、各庁舎、図書館や地区公民館、市公式ウェブサイトで見ることができます。

【問い合わせ】

政策推進課 ☎0978-621804